

# ブルキナファソ（2025年度）

- [国・地域別情報トップページへ](#)
- [各国・地域情勢](#)
- [在ブルキナファソ日本国大使館](#)

1. 2024年度日本語教育機関調査結果
2. 日本語教育の実施状況
3. 教育制度と外国語教育
4. 学習環境
5. 教師
6. 教師会
7. 日本語教師派遣情報
8. シラバス・ガイドライン
9. 評価・試験
10. 日本語教育略史

## 1. 2024年度日本語教育機関調査結果

初等教育			中等教育			高等教育			学校教育以外			全体の合計		
機関数	教師数	学習者数	機関数	教師数	学習者数	機関数	教師数	学習者数	機関数	教師数	学習者数	機関数	教師数	学習者数
0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	30	1	3	30

（注）2024年度日本語教育機関調査は、2024年9月～12月に国際交流基金（JF）が実施した調査です。また、調査対象となった機関の中から、回答のあった機関の結果を取りまとめたものです。そのため、当ページの文中の数値とは異なる場合があります。

[「海外日本語教育機関調査」のページへ](#)

## 2. 日本語教育の実施状況

### 全体的状況

#### 沿革

初等、中等教育、高等教育の場で日本語を学習する機会はない。大学においても日本関連（文学、言語、地理、歴史など）の専攻は存在しない。学校教育以外の機関では、2009年及び2010年にワガドゥグ大学にて、JICA短期ボランティアによる日本語教育が実施された。2013年から2025年9月まで、現地の日本語留学経験者が組織する非営利団体（AFAJAPS：ブルキナファソ・日本連帯協会）が民間企業と連携して日本語講座を開催した。2023年11月には、ケベック大学モンリオール校のブルキナファソ人教授BAZIE氏と協力し、ワガドゥグのAFRASI（アフリカ・アジア国際研究所）にて日本語教室が1か月間開催された。この講座には、日本への留学経験を有する在ブルキナファソ日本大使館の現地職員3名が交代で助手として参加した。

2025年1月からはAFAJAPSが独自の日本語講座を実施しており、教師3名（日本人2名、ブルキナファソ人1名）で約20人の学生を教えている。現在も週3回の授業が対面とオンラインで行われている。

## 背景

ブルキナファソにとって、日本は地理的に遠く、歴史的な関係も浅く、進出している日本企業もほとんどないことから、日本語学習は、学習者のキャリアに直結しがたく、日本語教育機関は存在しない。一方、アニメや漫画への若年層の人気は非常に高く、3つの愛好家団体がファンアートやコスプレ、日本語のカラオケイベントを開催している（イベントの参加者は400人～500人）。多くの若者にとって、アニメや漫画が日本文化や日本語に関心をもつきっかけとなっている。

## 特徴

ブルキナファソにおいては、日本製の自動車やバイク、電化製品が普及しており、日本は、技術の進歩した国、そして第二次世界大戦後にめざましい経済発展を遂げた国として、特に有識者から自国の発展モデルとして見られることが多く、日本語を含む日本文化に対する興味や関心は一定程度ある。日本の大学などへの留学を目指して日本語学習に取り組む学習者も存在する。日本のアニメや漫画に加え、武道に対する興味から日本語を学ぼうとするものも多く、日本留学経験者が一般向けに日本語教室を開講している。

## 最新動向

2025年1月から現在まで、非営利団体 AFAJAPS（ブルキナファソ・日本連帯協会）が日本語講座を開催しており、約20人の学生が週3回の授業で学んでいる。

## 教育段階別の状況

### 初等教育

日本語教育の実施は確認されていない。

### 中等教育

日本語教育の実施は確認されていない。

### 高等教育

日本語教育の実施は確認されていない。

### 学校教育以外

非営利団体 AFAJAPS（ブルキナファソ・日本連帯協会）による日本語講座が開催中。

## 3.教育制度と外国語教育

### 教育制度

### 教育制度

6-4-3制。

就学前教育 3 年間、初等教育が 6 年間、前期中等教育が 4 年間、後期中等教育が 3 年間。初等教育 6 年間と前期中等教育 4 年間の計 10 年間は義務教育とされている。高等教育機関は、大学の 3 年間で学士、その後もう 2 年で修士の学位が取得できる。

## 教育行政

初等教育機関は基礎教育・識字・国語促進省、中等教育機関は中等教育・職業・技術訓練省、高等教育機関は高等教育・研究・技術革新省の管轄下にある。

## 言語事情

公用語のフランス語のほか、モン語（主に国土中央部）、ジュラ語（西部）、フルベ語（北部）が広く用いられる。その他各民族の言語がある。

## 外国語教育

中学 1 年より英語を履修（必修）。ドイツ語、スペイン語、アラビア語、ラテン語から第二外国語を選択する中等教育機関もある。

### 外国語の中での日本語の人気

英語など欧米の言語と比べて、学校教育で日本語を学ぶ機会はない。

### 大学入試での日本語の扱い

大学入試で日本語は扱われていない。

## 4. 学習環境

### 教材

日本語教育の実施は確認されていない。

### IT・視聴覚機材

特になし。

## 5. 教師

### 資格要件

日本語教育の実施は確認されていない。

## 日本語教師養成機関（プログラム）

日本語教師養成を行っている機関、プログラムはない。

## 日本語のネイティブ教師（日本人教師）の雇用状況とその役割

日本語のネイティブ教師（日本人教師）は雇用されていない（ボランティアで参加）。

## 教師研修

現職の日本語教師対象の研修はない。

## 日本語教育関係のネットワークの状況

日本語教育関係のネットワークはない。

## 最新動向

特になし。

## 6.教師会

### 日本語教育関係のネットワークの状況

日本語教育関係のネットワークは確認されていない。

### 最新動向

特になし。

## 7.日本語教師派遣情報

### 国際交流基金からの派遣

### 国際協力機構（JICA）からの派遣

JF、JICA からの派遣は行われていない。

### その他からの派遣

(情報なし)

## 8. シラバス・ガイドライン

統一シラバス、ガイドライン、カリキュラムはない。

## 9. 評価・試験

### 評価・試験の種類

共通の評価基準や試験はない。

## 10. 日本語教育略史

### 2009年～2010年

ワガドゥック大学にて、JICA 短期ボランティアによる日本語コース実施（2009年1月～6月／2009年10月～2010年7月）

### 2018年～2025年9月

ワガドゥックの非営利団体（AFAJAPS）が民間企業と連携した日本語講座を開設

### 2023年

ワガドゥックの AFRASI（アフリカ・アジア国際研究所）にて日本語教室が1か月間開催され、日本への留学経験を有する在ブルキナファソ日本大使館の現地職員3名が助手として参加した。

### 2025年1月現在

ワガドゥックの非営利団体（AFAJAPS）による日本語講座開催中。

## 情報更新についてのお願い

この国の日本語教育に関する情報がありましたらお知らせくださるようお願いいたします。  
なお、内容の確認のため、こちらからご連絡する場合があります。

**Eメール：kuniketsu@jpf.go.jp**

（メールを送る際は、全角@マークを半角@マークに変更してください）